

住まい 未決定 未回答 5000世帯の すべてを視野に対策を

—住まい連が市長に申し入れ—



副市長に対する申し入れを行なう
住まい連代表委員会（10月8日）

仮設住宅に暮らす8918世帯のうち4776世帯がまだ行き先がはっきりしない問題で、住まい連が石巻市長に対して申し入れを行いました。回答指定日は11月5日。

石巻市が7月より実施している意向調査によって8月末現在仮設後の住まいの見通しが立っている世帯が4千世帯余にとどまり過半数が未定または不明という事態に対して具体的対応を提言したもので、将来、仮設貸与の期限を判断するうえでも市の回答が注目されます。

震災から一日も早く立ち上がるために

住まいの復興を考える会

石巻市南中里4丁目5-14
電話 090-8424-8809

第32号
2015.10.28

主な申し入れ事項

「すべての被災者が一日も早く安定した住まいを確保し、自らの暮らしの再建と地域社会への復帰に専心できる状況をつくること」を基本として

- 一、「未決定」「無回答」の内容をより詳細に、未回答を含めすべての世帯を把握すること。
- 二、「無資格」の内容について
 - ・判断基準が実態に即しているか
 - ・市の実態把握の体制の強化を
 - ・中間的な低家賃住宅の用意を。
- 三、復興住宅待機者について
 - ・計画戸数の早期着工を
 - ・意向調査の進展によって希望者がさらに増えないか。
 - ・ミスマッチの対応策は。
- 四、民間賃貸借希望について
 - ・家賃の助成を。
- 五、仮設住宅改善について
 - ・希望する世帯に部屋数をふやす

市が公表した「意向調査」によると8月末時点で回答率が51%で将来の住まいの予定がはっきりしている世帯は仮設居住者の半数以下にとどまり、未回答者を含めると5千世帯の意向がまだ把握できていないことになり事態は極めて深刻です。

また、「無資格者」といわれる実態は曖昧で内容も数もはっきりしないのは市の縦割り行政の弊害であることが原因であり是正を要望。

住まい連はこの事態の打開のために緊急に別項のことを申し入れました。

生活再建意向調査

	2015. 8. 31 現在
対象	8918 世帯
回答	5116 世帯 (57%)
復興公営住宅	2,149
自宅建設	1,292
民間賃貸住宅	449
家族親戚宅	102
公営住宅	62
その他	88
小計	4,142
未決定	753
無回答	221
未回答	3,802
小計	4,776
合計	8,918

私は無資格者ですか？
借家に住んでいて被災した。県外に避難していたが、石巻に戻り仮設住宅に入った。復興公営住宅に申し込もうとしたら、市の担当者から前の家主に相談しなさいと言われたが、ちがいがあかない。結局申し込みが出来なかった。本当に困っている。
(万石浦団地)



松並・緑町
結び祭り
9月13日・松並公園



県民センター緊急シンポ
「一人ひとりが希望の持てる住宅再建を」
11月8日仙台弁護士会館

災対連全国交流集会在宮城
11月20~21日松島大観荘

住まい連の
第4回定期総会
11月15日(日)午後1時30分
仮設大橋団地・東集会所
みんなの声をもち寄り
暮らしの再建へ向かう力に！